

## 平成 22 年度 第 2 回会計学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成 22 年 8 月 26 日 (月) 午後 13 時 30 分から 16 時 30 分まで
- II. 会場 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者 : 岸田委員長、椎名副委員長、松本委員、阿部委員  
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、渡邊職員

### IV. 議事概要

#### 1. 検討内容

前回に引き続き、会計学教育における学士力を学生が習得するにあたり、どのように ICT が活用できるか、より具体的な検討をおこなった。

選定された 3 つの領域、すなわち、

- (1) 企業会計の一巡過程を理解している、および会計情報の読み方を理解している。
- (2) 会計情報システム概念、データベースなどを説明できる。
- (3) 情報開示制度を理解し、利用できる、および会計情報を利用して投資意思決定の支援できる。

について、ICT の活用方法を議論した。

まず総論的に会計学の学習にどのような ICT 活用が想定されるか議論が展開された。会計情報を読み取れる、理解できるようにするために、Excel を利用した簿記一巡の手続きの習得プロセスをシステム化して活用する案、財務分析が学生にとって取り組みやすいとの意見から、入門レベルの授業から財務分析の演習を取り入れ、代表的な指標について解説し会計についての理解を深める案、EDINET 等から財務データを抽出し、データベースの作成に活用する案等が出された。

総じて現行の授業スタイルを尊重しながらも、インターネット等のネットワークを活用すること、アプリケーションとしては Excel、Access 等が活用しやすいこと等が確認された。またグループ学習の推奨や講義中にツイッターでの議論を行う等、提示型の教材からコミュニケーション能力や判断力が養成されるような、議論中心型の教材づくりに ICT が活用されることが重要であるとの認識が共有された。

以上の議論の結果、上記 (1) ~ (3) の領域について、具体的な授業科目をあてはめ、次のようにまとめることが了承された。

- (1) : 授業科目名「会計学総論」(一般レベル)
- (2) : 授業科目名「会計情報システム」(専門レベル)
- (3) : 授業科目名「管理会計」(専門レベル)

以上3科目について、15回の授業シラバスならびにどの部分にICTを活用すべきか、ICTを活用した授業シナリオ、および期待される効果について、引き続き検討することが確認された。なお「会計学総論」については2006年に作成した会計学入門のコアカリキュラムを参考とすること、「管理会計」については配付資料2-②を参考にすることが確認された。

## 2. 次回までの宿題

- (1) 会計学総論
- (2) 会計情報システム
- (3) 管理会計

の各科目について、具体的に15回の授業シラバスを想定し、どの部分にICTを活用するか、どのような方法で利用するかを具体的に提案する。

## 3. 次回の委員会

日時：2011年11月20日 17時00分～21時30分

場所：名古屋学院大学

以上